



関西電力美浜原発

アート・アド
分会 N

う。
にしましよ

みんなの力で廃炉

れているということです。
米原子力規制委員会
(NRC)の委員長を務
めていたアリソン・マク
ファーレン氏は「原子炉
が長期にわたって停止し
ていた場合、長い間休止
状態にあった機器や、さ
びついた運転技術により
問題が発生する可能性が
ある」と言っています。
スウェーデンでは、独
電力大手エーオンが一九

九二年から停止していた
オスカーシヤム原発一号
機の運転を九六年に再開。
その翌年に六回の緊急停
止があったほか、亀裂が
見つかったことから三八
日間で終わる予定だった
燃料の交換作業に四カ月
以上かかりました。

川内原発のみならず、
すべての原発の再稼働は
無謀としかいいようがあ
りません。危険な原発を

「思想犯」の復活 国会前、大量逮捕

田中龍作
ジャーナル
(九月二五
日)より

『市民で埋め尽くされ
た国会前の車道』。空撮

映像は安保反対の人々が
圧倒的多数であることを
示す証拠として国内外の
世論を揺さぶった。

これがアベシンゾーの
逆鱗に触れたのだろう。
意を汲んだ警察庁出身の
杉田和博官房副長官が、
警視庁に規制の徹底を指
示した。

苛烈を極めたのが一六
日の夜だった。「そいつ
を捕まえろ」。警察は次
から次へと参加者を逮捕
していった。わずか数時

間で計十三人が身柄を拘
束されたのだ。

都心の所轄署に分散留
置されていた十三人は、
今日午後までに全員釈放
された。

釈放されること自体は
喜ばしいことだが、警察
は起訴できない人を十三
人も逮捕したのである。

見込みで逮捕するのだ
から恐ろしい。十三人す
べての逮捕容疑が公務執
行妨害というのが、いか
にもた。

田中は当時のもようを
機動隊のすぐそばで見て

いた。警察に突き飛ばされたりしながらも一部始終をカメラに収めた。

警察はデモ参加者を機動隊のうずの中に引きずり出して逮捕していった。ポコポコと音がするのは殴る蹴るの暴行を加えているのだろう。

気を失っているのか。伸びたままの状態で両足を引っ張られ護送車まで連行されていく若者もいた。

弁護士が品川署で接見した男性は目の周りにアザがあり腕にスリ傷があった、という。

高輪署に勾留されていた男性は、ステージのすぐそばで有名人の発言に

耳を傾けていたところ、「確保」という怒鳴り声と共に後ろから警察官に抱きつかれ逮捕となった。男性は「何が起きたのか分からなかった」と話す。

救援に入った弁護士は「公安警察があいつを捕まえろと以前から狙っていた可能性があった」と見る。

とにかく手当たりしだい逮捕していったのである。「警察に体が触れていないのにもかかわらず逮捕された人が複数いる」と弁護士は話す。

取調べで警察は逮捕内容とは全く関係のない脅しやスカシで揺さぶって

きた。

中央署に勾留されていた男性は、刑事に「政治活動をやめろ。まともな生活に戻るんだ。将来どうなるか分からないぞ」と脅された。

久松署に留置されていた男性は、耳を疑いたくなるようなことを刑事に言われた。「ここには殺人(犯)もいる。強姦(犯)もいる。思想犯ばかりじゃないからね」と。

男性は「思想犯と言いましたね?」と刑事に質した。刑事は「暴力につながる思想が問題だ」と突っぱねた。まるで戦前の特高警察ではないか。

検察が勾留請求できない

かったために男性は逮捕から二日目で釈放された。にもかかわらず警察は彼を思想犯扱いにしたのである。

政府の方針に反対するデモ参加者は思想犯扱いし、手あたり次第に逮捕する。それが当たり前の時代に入ったのだろうか。

